

---

---

# 開 会 挨拶

京都外国語大学 副学長 下村 秀則

---

---

皆さま、こんにちは。本日は京都外国語大学によろしくお会いくださいました。ただいま、ご紹介にあずかりました、副学長の下村でございます。会場校を代表いたしまして、一言ごあいさつ申し上げたいと存じます。

大学コンソーシアム京都主催のFDフォーラムは高等教育の質向上と京都からのFD活動の情報発信を目的として、1995年に第1回を開催し、今年で21回目を迎えることとなります。

今回、京都外国語大学がFDフォーラムの会場校となりまして、このように全国から大勢の皆さまをお迎えできることを大変光栄に存じます。ご参集賜りました皆さまに感謝申し上げますとともに、このFDフォーラムの企画運営に多大なる協力をいただきましたFDフォーラム企画検討委員会の先生方にも改めて御礼申し上げます。

ここで、本学を少し紹介させていただきたいと存じます。第二次世界大戦後間もない1947年に、創立者である森田一郎・倭文子は世界平和を実現するためには外国語の習得とその言語圏に対する理解が必要であると考えて、本学を起こしました。

創立以来、今年度創立69年を迎えることに

なりますけれども、約70年にわたって建学の精神である、ラテン語の「PAX MUNDI PER LINGUAS（言語を通して世界の平和を）」を掲げて、世界平和の実現に何らかの形で貢献できる人材の養成をめざして、教育活動にかかわってまいりました。

今、皆さまが着席されていますこの森田記念講堂は、1987年、ちょうど学園創立40周年の年を記念して設立されました。ですから、今からおよそ30年前ということになります。約800名を収容できるこの大講堂は、入学式を始め、卒業式や授業、講演会など多くのイベント等で使用されています。本学にとっては、シンボリックな施設ということになります。

会場校としてこの講堂で第21回のFDフォーラムという大きな催しを開催できますことを本当にうれしく思っております。

本日と明日、明日は13の分科会があるということですが、この2日間のフォーラムで活発な議論を展開していただきまして、日本の高等教育がますます発展するように祈念いたしまして、私のごあいさつとさせていただきます。

ご清聴、どうもありがとうございました。